



(上) 市担当者からECOちとせの取組方法を説明  
(下) グループごとに活発な情報交換がされました

4月は、ECOちとせに取り組み多くの事業所において年度の切替時期となります。このほど新規の取組

事業所が大幅に増加したことなどから、取組方法を再確認し、今後の活動に生かしていただくよう認定事業

### 「仕事とエコを考え、交流の機会に」 「ECOちとせ認定事業者等研修会」を実施しました



ちとせエコ通信  
「エコつう」

第 6 号

平成23年5月

発行：千歳市

環境課ISO管理係

電話(24)0591

#### 研修会の情報交換で出された各グループからの意見

- ガソリン・軽油削減の取組として、社用車の相乗り、アイドリングストップを実施している。
- 帰宅時間に合う公共交通がなく、自家用車を使わざるを得ない状況にある。
- 融雪機はなるべく使用せずに自然除雪している。
- 駅前イルミネーションをLEDに変えたところ、年間電気料金が以前の20分の1になったそうで、導入経費はかかるが効果はある。
- 現場によってガソリン・軽油使用量にばらつきがあり、削減効果が見えにくい。現場車両は除外して事務所用の固定車(事務所で使う車両)のみを対象としている事業所もあると聞き、そのほうが比較対象がはっきりして良いと思う。
- エコカーやLED導入は資金的に今すぐの実施は難しい。
- トイレに節水機能を付けたが、水の流れが悪く、結局何度も流す結果になってしまった。
- 省エネと経済活動は相反するものである。エコ活動することでどんな効果があるのか？
- 研修会で他社との意見交換ができたので、今後もこのような機会があると良い。

者を対象とした研修会を実施しました。  
30事業所34名の方に参加いただき、前半は市担当者から年度実績のまとめ方や新年度計画の立て方などの取組方法の説明を行い、後半はグループに分かれて事業所同士の情報交換をしました。  
各グループでECOちとせに取り組む中での問題点、取組効果、

今後の取組について積極的な意見交換が行われ、左記のとおり自社の現状を含めた様々な意見が出されました。  
参加者からは、ぜひこのような機会を今後も開催してほしいとの声も聞かれ、充実した研修会となりました。今後も、事業所の皆様と一緒に「ECO」について考える交流の場を作っていきたいと考えています。

## 補助金を活用して省エネ設備を導入してみませんか 北海道グリーン・ニューデール基金事業補助金

北海道では、省エネ設備を導入しようとする事業者に対して費用の一部を補助しています。現在、平成23年度補助対象事業の募集を行っています。補助金を活用して省エネ設備を導入してみませんか。

### ●補助事業の名称

北海道グリーン・ニューデール基金事業補助金「地球温暖化対策事業」

### ●補助対象事業

北海道内の事業所において実施する事業であつて、省エネ施設・設備を複合的(省エネボイラーとLED照明を同時に導入など)又は一体的(本社や支社など複数の事業所にLED照明を導入など)に整備する事業

### ●補助対象経費

事業を行うために必要な設計費、

工事費、機械器具費など

### ●補助率等

補助対象経費の3分の1以内  
(補助上限額1,000万円)

### ●補助対象事業者

「北海道グリーン・ビズ認定制度」(下記)の登録又は認定を受けている民間事業者

### ●補助事業の申請方法

補助対象事業として認定を受けるには、平成23年6月30日(必着)までに北海道に事業計画認定申請書の提出が必要となります。

※申請書の様式は北海道のホームページからダウンロードできます。千歳市内の事業者もこの補助金を活用して平成22年度にヒートポンプ式エアコン及びLED照明を導入した実績があります。

## 北海道グリーン・ビズ認定制度

環境に配慮した取組を自主的に行っている事業所等を、北海道が登録・認定する制度です。環境にやさしい企業や商店などの「環(わ)」を広げ、環境と調和する「エコアイランド北海道」づくりを進めています。

「優良な取組部門」への登録申請は随時募集しています。

### ●登録方法

取組内容が登録基準に適合していることを自身で確認し、パソコン、郵送・FAX・持参いずれかの方法で北海道に申請します。有効期間は登録の日から3年間(期間終了後、再申請可能)で、登録料や年会費等の費用はかかりません。申請後1〜2週間で登録が完了します。

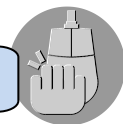
※道のホームページでの広報、シボルマークの使用、金融機関での優遇融資などのメリットがあります。



北海道グリーン・ビズ認定制度、北海道グリーン・ニューデール基金事業補助金について、詳しくは北海道のホームページで御確認ください。また、市役所環境課でも情報提供できますので、お気軽にお問合せください。

北海道グリーン・ビズ

検索



### 編集後記

▼電力消費が最も多くなる夏を控え、関東地方では現在も最大限の節電が必要となっています。私たちが今この機会に、会社、家庭での電力使用を今一度見直しましょう。